



2025・8・5

<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）は、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、学生や若手作家の支援に加え、日本画の可能性に挑戦する中堅の作家・グループを紹介しています。

今回は園家誠二（そのけせいじ）による水墨の世界をご覧にいます。

園家氏は富山県黒部市に生まれ、高校時代に憧れた「学校の美術の先生」を目指し上京して東京学芸大学で美術を学びました。卒業後は千葉県内の高校で美術教師として教壇に立ちつつ、制作活動を地道に続けてきました。

展示されるメイン作品は、園家氏の実家が代々社家を務めてきた黒部市・龍泉寺に奉納される襖絵で、2025年2月に富山県水墨美術館にて初公開され、多くの反響を呼びました。長年、地域の精神的支柱であり続けた寺院の空間に、作家自身の祈りとまなざしが込められています。

■展覧会概要

タイトル	『園家誠二 龍泉寺奉納襖絵展』 ～ 月光 未然 ～
会 期	2025年10月4日（土）～ 10月26日（日） 11:00 ～ 19:00（月曜定休・最終日 17:00 まで）【入場無料】
会 場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	園家誠二（そのけせいじ）
展覧会内容	2025年秋、浄土真宗白雲山龍泉寺本堂（富山県黒部市）に奉納させていただくことになりました襖絵（2300×6000 mm）をはじめ、新作、旧作あわせて約6点を展示します。 これまで「日本画」表現を模索する中で深遠な心象風景を目指してきましたが、今回の襖絵制作や新作においては、水墨表現の新たな展開を通して「浄土観」の解釈を試みています。 （園家誠二）
主 催	園家誠二
企 画	UNPEL GALLERY

<ご連絡・お問い合わせ先>

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・渡邊）

E-mail / tsubaki@unpel.gallery <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

園家誠二（そのけせいじ）

- 1960年 富山県黒部市に生まれる
1984年 東京学芸大学卒業
2001年 東京日本画新鋭選抜展 奨励賞
2008年 第4回東山魁夷記念日経日本画大賞展に選抜
2012年 第5回東山魁夷記念日経日本画大賞展に選抜
2020年 日本水墨画美術協会 特別賞

【個展】

ギャラリーこいち（京橋）、アートギャラリー閑々居（新橋）
ギャラリーアートポイント（銀座）、ギャラリー尾形（福岡）
なか玄アート（京橋）、純画廊（銀座）、SPACE NIO（日本経済新聞社/大手町）
Gallery NEO/SENSYU（つくば）、nobu's gallery（笠間）、香希画廊（富山）

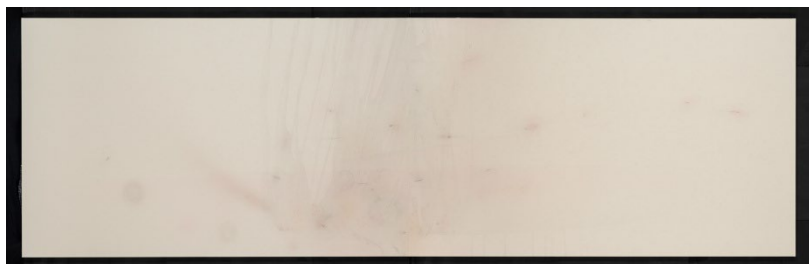
【グループ展】

- 1996年 東京日本画新鋭選抜展（大三島美術館／愛媛）
2006年 現代「日本画」の展望（和歌山県立近代美術館）
2010年 ゲンダイビジュツ道（ドウ？）（練馬区立美術館）／三叉景（ギャラリー和田/銀座）～'22
メッセージ アート新世代から（富山県立近代美術館）
2014年 岡倉天心没後100年記念展（茨城県近代美術館）
2019年 現代茨城作家美術展（茨城県近代美術館）／現代美術展（浜松市秋野不矩美術館）～'24
2021年 ひろがる墨 五彩に出会う（茨城県天心記念五浦美術館）
2024年 銀座和紙書画展（東京画廊/銀座）
2025年 園家誠二 ～つくる世界 そだてる絵～（富山県水墨美術館）など

【コメント】

未然にかえる
偶発からはじめる

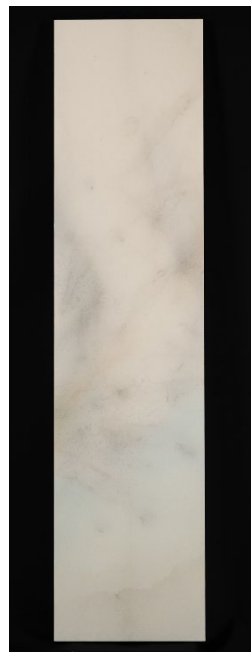
はるか昔からわたしたちを取り巻く「もの」や「こと」は少しずつ濾過され結実して現在の「かたち」、
「かた」にたどり着いていますが、本来、わたしたちが生きてきた豊潤な風土は個々の境を曖昧に
するものではなかったのでしょうか。分別される以前にかえてみる、未然にかえる。あらためて「人」
と「もの」、「こと」の関わりについて考えてみる。方法としては、「かたち」や「かた」を超えるために素材
と技法を対象化することからはじめる。偶発からはじめる。



「月光 no.208」

2020 年制作

894× 2910 mm

雲肌麻紙、墨、岩絵具、
アクリルガッシュ

「月光 no.2303」

2023 年制作

1500 × 360 mm

雲肌麻紙、墨、岩絵具、
アクリルガッシュ